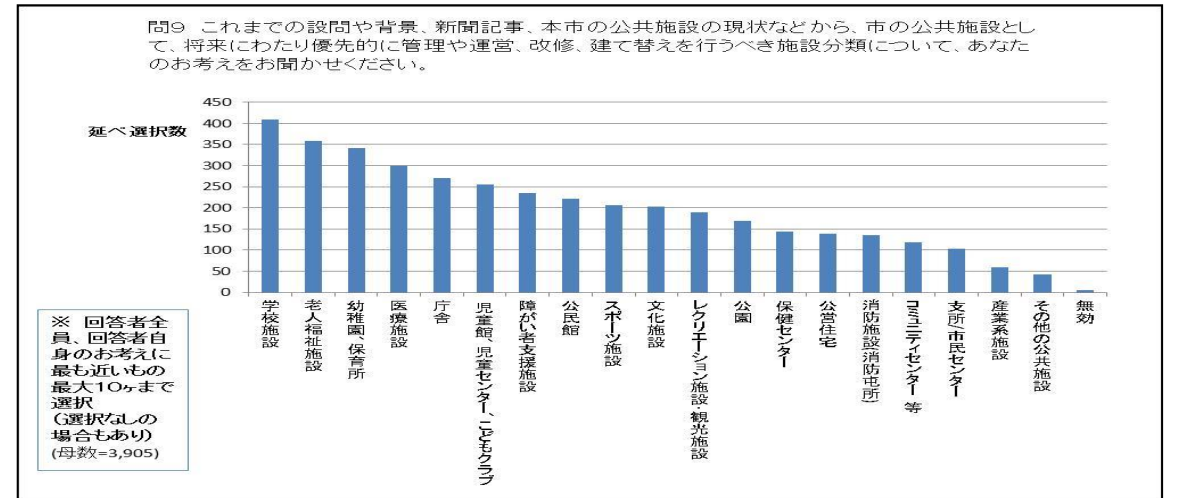
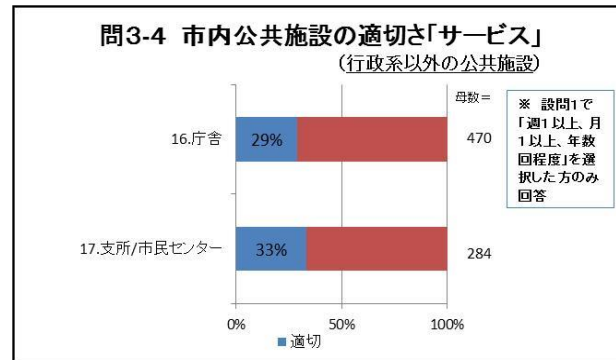
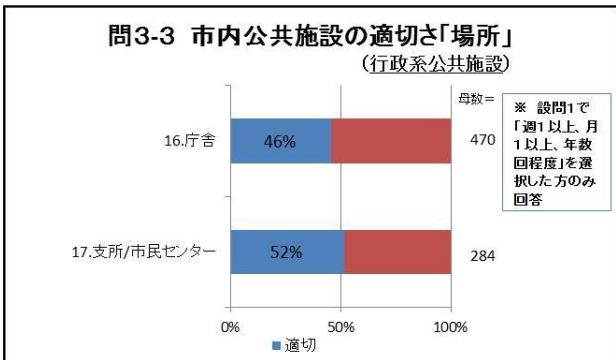
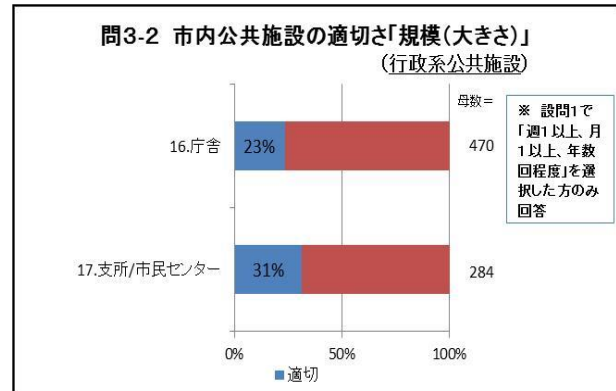
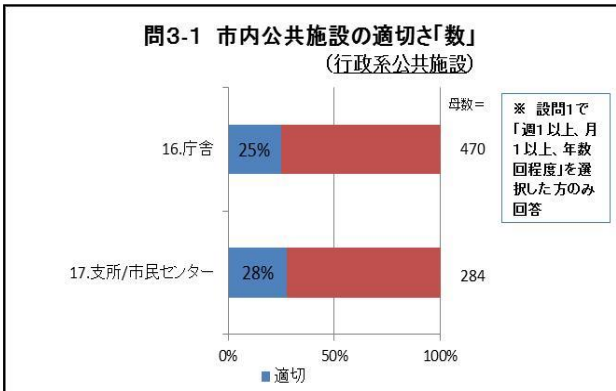
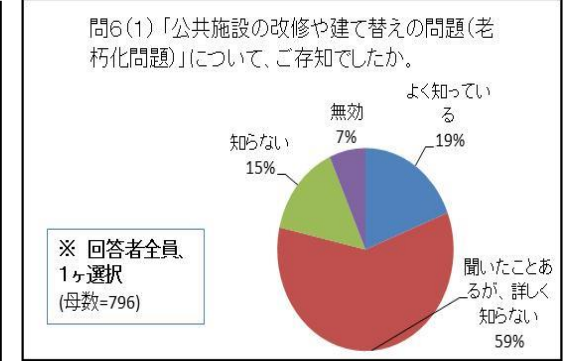
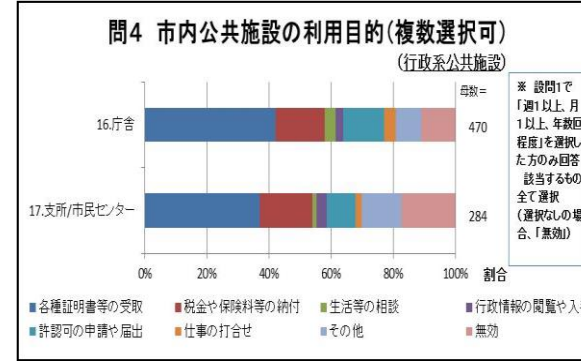
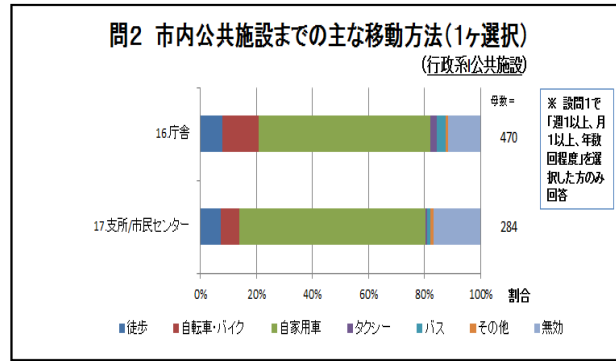
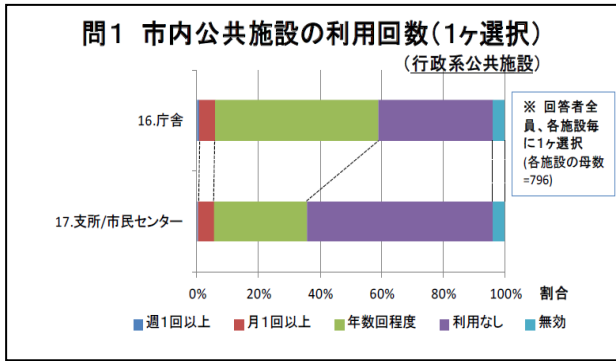


公共施設に関する意識調査(公共施設に関する市民アンケート 平26年1月実施)



#### <自由意見>

- 庁舎の老朽化は現状の財政状況のシンボルの様であり、最優先で建替えすべきだと思う。
- 支所・市民センターのサービスを本庁舎と同様に拡充してほしい。
- 市役所が古い。段差が多く高齢者に優しくない作りである。いつも混んでいて待ち時間が長いから別の場所で手続きすることが多い。
- 庁舎を統合してほしい。

#### <公共施設に関する市民アンケートより>

H26年に実施した「公共施設に関する意識調査」において、庁舎関連部分の回答についてピックアップすると次の通りである。

- 庁舎の過去一年間の利用回数として、回数程度利用している方が約5割、利用がない方は約4割となっている。
- 庁舎までの移動交通手段は圧倒的に自家用車が多く、自転車と徒歩が次いでいる。
- 庁舎の「数」「規模」「場所」「サービス」について、適切かどうかに対する回答は、それぞれ、25%、23%、46%、29%と、規模や数に対する評価が低くなっている一方、場所には約半数が適切であると考えている。
- 庁舎の利用目的は「各種証明書等の受取」が40%以上を占め、次いで「税金や保険料等の納付」となっている。

#### <庁舎の建替えについて>

- 厳しい財政状況の中での建替えには賛否が分かれているが、庁舎の老朽化・使いにくさは共通した認識となっている。
- 庁舎を建て替える場合には、コスト削減、市民目線での使いやすさ、バリアフリー等の工夫とともに、支所や市民センター等、地域の施設での証明書発行等、利便性の向上を図る工夫も求められる。

